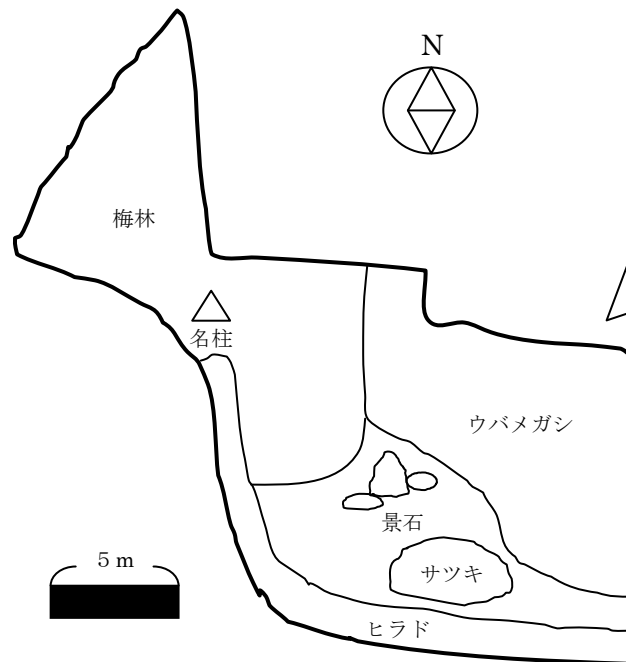


和歌山県の森

和歌山県の森は、県の木・ウバメガシ、県の花・ウメを多く植栽し、郷土色あふれるエリアとなっております。

この大倉山公園の「ふるさとの森」は、昭和47年に神戸和歌山県人会の呼びかけから始まりました。当時としては画期的な市民参加による緑化事業です。



県の木 ウバメガシ (フナ科)
紀南地方に多くみられる常緑広葉樹。高温多湿を好みますが、耐乾燥性もあり、生命力の強い木として知られています。県特産品・紀州備長炭の材料としても有名です。



県の花 ウメ (バラ科)
2~3月頃にかけて美しい花を咲かせ、その香りも素晴らしく、春を告げる花として親しまれています。ウメの実は、栽培面積、出荷量とも全国一位で、県を代表する特産品です。

